



## 「 夏の小中交流 ～各小学校の授業参観～」

### 西陵中学校の成果検証

8月22日（金）発寒小・発寒東小を西陵中職員が授業参観し、その後実践交流会を行いました。尚、同日発寒小学校において西陵中学校美術部が、昼休みを使い、大型紙芝居による読み聞かせを実施しました。

2校の授業や生徒の様子を見るだけでなく、各学年での展示物なども拝見し、学習活動の様子が見てとれました。また、参観後の交流会では、テーマを「家庭学習の習慣化を定着させるために行っている手立て」とし、現在の取り組み方や方法などの発表をしました。

今年度、西陵中にも特別支援学級ができたことにより、支援学級間での交流もできました。

## 「 冬の小中交流 ～中学校の授業参観～」

### 発寒小学校の成果検証

西陵中学校の様子を見学しました。

学習に真剣に取り組む制服の後ろ姿を見つめながら、中学校の学習レベルに目を丸くしていました。また、各学級に掲示している草書体の毛筆に驚いていました。



中学校の先生が、英語と美術の体験教室を開催してくださり、子どもたちは進学への意欲を高めることができました。

## 「 合唱コンクール見学 ～心の継承～」

### 発寒東小学校の成果検証

中学生の合唱に取り組む姿勢や歌声に単に憧れるだけでなく、中学生の姿から学んだことを自分たちに生かそうとする様子が見られました。

この9日後に開校40周年記念式典が行われ、かつてないほどの素晴らしい歌声が体育館に広がりました。そして今度は、自分たちが後輩たちに憧られる立場となりました。

西陵中の迫力ある声量と美しい歌声に感動する5・6年生



今回の合唱コンクール見学を通し、本校には、西陵中学校の「歌う心」が見事に広がりました。今後、この「歌う心」を本校の良き伝統とし、堂々と歌う子どもたちを西陵中学校に進学させたいです。

## 全体としての成果検証

交流会は夏と冬の2回実施した。その内容や方法については担当者会議を何度か設定し、行うことができた。具体的には、実践交流会のグループ分けや体験授業が可能かどうかを協議し、実際12月の交流会で、生徒情報交流を含めたグループ分けや2校の小学生全員を同日同時刻に来校してもらい、短時間だったが「美術」と「英語」のいずれかの教科の体験授業も実施することができた。今回の成果として交流会の内容を協議できる担当者会議の必要性、交流会でのグループ分け、体験型の授業参加など試みることができたことが成果と言える。また、2校の小6の子どもたちにとっても、専門教科の先生による授業や授業内容が体験できたことは、進学後の不安も若干解消されたと考える。